



## 寒河江市日田「けいやく」

町会の世帯主が全員集まって年1回基本的な決め事をする。昔からのなごりが今に残る。(今の総会にあたる)

# さがえ

## 市議会だより

2013年1月20日

No.116

## 12月定例会

### 第2回臨時会

#### 主な内容

- 審議した議案と結果…………… 2～3<sup>P</sup>
- 一般質問…………… 4～8
- 議会報告会の実施…………… 8～9
- 常任委員会・議会運営委員会行政視察報告…………… 10～11
- 市民の声、  
あらがまち紹介ほか…………… 12

■発行 寒河江市議会  
■編集 さがえ市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

# 12月定例会

12月定例会は、11月16日から30日までの15日間の会期で開かれ、補正予算6件、条例改正4件、その他4件の合計14案件を審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。



## 主な質疑

### 平成24年度寒河江市立病院事業会計補正予算(第1号)

議員 平成25年1月1日から療養型病棟が実施される。看護体制はどのようにされるのか。

答弁 看護師は現在75名体制になっているので、現体制で対応することになります。

### 寒河江市市税条例の一部改正について

議員 たばこ税改正により増税につながるが、市内のたばこ売上の増収額と総本数はどれくらいになるのか。

答弁 平成23年度のたばこ税は2億8千万円ですので、その前提では3千9百万円の増となります。売上総本数は約6千7百万本です。

### 国際チェリパーク、イベント広場、チェリドーム、臨川亭及びチェリーランド河川敷公園に係る指定管理者の指定について

議員 チェリーランドの中にトルコ館があるが、それ

も含まれているのか。

答弁 トルコ館は別に指定管理者がいるので、含まれておりません。

議員 河川敷の丸太のベンチが腐食しているが、指定管理者は把握しているのか。

答弁 担当で確認し、危険なところは指定管理者と協議して管理していきます。

### 寒河江市立にしね保育所に係る指定管理者の指定について

議員 保育所の職員への交通安全の指導は行っているのか。

答弁 指導は常に行っております。

### 土地の取得について

議員 土地の取得後のスケジュールと屋内運動場の概要について具体的に伺う。

答弁 年内に実施設計を行い、建築確認申請を1月上旬、並行して構造計算を進めていきます。その後、一般競争入札を行い、議会で諮ります。施設の概要は、現在

委託業者とともに設計について詰めており、詳細については早いうちに提示していきます。

議員 概要について意見を言ったり見直しをする部分は一切ないのか。

答弁 設計の詳細部分について、できるだけ早く提示し、話し合いができる機会を設けてまいります。

## 第2回臨時会

12月26日、第2回臨時会が開かれ、補正予算を含む2案件を可決しました。

### 平成24年度寒河江市一般会計補正予算(第5号)

議員 除雪事業の除雪窓口案内について。

答弁 除雪の総合窓口として、道路除雪の他に屋根の雪下しや敷地内の排雪など、除雪に関する一本化した窓口を設置し、市民の簡易な相談について対応していきます。ただ、ひとり暮らし高齢者の除雪についての詳細

な相談など、検討を要するものにつきましては、担当課の方に引き継ぎながら対応していくこととなります。

### 最上川寒河江緑地に係る指定管理者の指定について

議員 指定管理制度ではなく、通常の業務委託で対応できないのか。

答弁 指定管理者制度は民間企業を含め、公の施設の管理について、包括的な管理運営を委ねることができません。単に施設の管理だけでなく、いろいろな事業を行うことができるので、民間のノウハウを生かして施設の有効活用、経費の削減が図られるものです。

議員 今回、指定管理者を指定した場合、3年後に公募をしないで同じ事業者を指定することとなるのか。

答弁 基本的に公募が原則となっております。単に指定期間の実績が良好であったとしても、更新時に、1社を指定するということはありません。

# 12月定例会、第2回臨時会の提出議案と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
議第67号	《12月定例会》 平成24年度寒河江市一般会計補正予算（第3号） 人事異動等による職員給与費、生活保護費の扶助費、障害福祉サービス扶助費など2億590万円の追加	全会一致で可決
議第68号	平成24年度寒河江市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 人事異動等による職員給与費132万1千円の減額	全会一致で可決
議第69号	平成24年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 人事異動等による職員給与費218万8千円の減額	全会一致で可決
議第70号	平成24年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第2号） 人事異動等による職員給与費192万1千円の減額	全会一致で可決
議第71号	平成24年度寒河江市立病院事業会計補正予算（第1号） 療養病床実施に伴い、入院収益と医業費用を減額	全会一致で可決
議第72号	寒河江市市税条例の一部改正について 退職所得に係る個人住民税の税額控除の廃止や個人市民税の均等割について500円を加算する税率の特例等による一部改正	多数で可決
議第73号	寒河江市都市計画税条例の一部改正について 寒河江中央工業団地第4次拡張地について、都市計画税の課税免除を行うための一部改正	全会一致で可決
議第74号	寒河江市企業立地等の促進に関する固定資産税課税免除条例の一部改正について 固定資産税課税免除期間の終了に伴い、さらに3年間延長するもの	全会一致で可決
議第75号	寒河江市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正について 寒河江市立病院アクションプランに基づき、療養病床を導入するための改正	全会一致で可決
議第76号	国際チェリーパーク、イベント広場、チェリードーム、臨川亭及びチェリーランド河川敷公園に係る指定管理者の指定について 指定管理者の指定をするもの	全会一致で可決
議第77号	寒河江市立にしね保育所に係る指定管理者の指定について 指定管理者の指定をするもの	多数で可決
議第78号	土地の取得について 屋内多目的運動場の整備用地として用地を取得するもの	全会一致で可決
議第79号	市道路線の認定について 寒河江中央工業団地第4次拡張区域内の道路についての市道認定	全会一致で可決
議第80号	平成24年度寒河江市一般会計補正予算（第4号） 衆議院議員総選挙に係る選挙経費2,201万円4千円の追加	全会一致で可決
議第81号	《第2回臨時会》 平成24年度寒河江市一般会計補正予算（第5号） 山形県雪対策総合交付金事業創設に伴う雪対策事業費など5,311万9千円の追加	全会一致で可決
議第82号	最上川寒河江緑地に係る指定管理者の指定について 指定管理者の指定をするもの	多数で可決

## 賛否表(12月定例会、第2回臨時会) (賛成による全会一致で可決以外の表決を掲載しています。)

議案名	議員氏名等																	
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	阿部清	遠藤智与子	後藤健一郎	太田芳彦	國井輝明	沖津一博	工藤吉雄	杉沼孝司	辻登代子	荒木春吉	木村寿太郎	新宮征一	佐藤良一	内藤明	川越孝男	那須稔	嶋田俊廣	
議第72号 《12月定例会》 寒河江市市税条例の一部改正について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第77号 寒河江市立にしね保育所に係る指定管理者の指定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
議第82号 《第2回臨時会》 最上川寒河江緑地に係る指定管理者の指定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	

○は賛成 ●は反対 ▲は棄権 -は欠席



## 豪雪による雪害や対策全般について

木村 寿太郎 議員

① 2年続いた記録的な豪雪により、市民生活にも多大な影響を及ぼし、本市におけるこの2年間の農業被害を含んだそれぞれの被害額はいくらずで、この教訓がどんな成果として生かされたのか。

② 排雪場所までの動線が悪く、接触事故などが絶えない箇所があり、便利な場所に変更を考えてほしい。流雪溝の設置も近い将来には、当然考えなければならぬかと思うが、

市長 ① 建物被害は一昨年度3棟、昨年度6棟で農業被害はそれぞれ709万4千円、1億1971万2千円であり、前年度の豪雪を受けて、チラシ配布等広報活動の強化や、基幹農道除雪の前倒し実施等により被害の軽減に努めました。② 排雪場所候補地を調査しておりますが、適地が見当たらない場合は、今シーズンも慈恩寺橋下流とする予定であります。混雑する時期の土・日曜日には交通誘導員を配置するなど交通安全対策に配慮してまいります。

流雪溝の設置は、個別にその可能性について考えてまいります。

## 小中学校通学路の安全確保について

① 新学期早々に全国的に集団登校中の児童の列に自動車が出っ込む交通事故が相次ぎ、幼い命が次々に奪われました。本市においては安全確保のための通学路の点検は行われているのか。その結果と整備状況はどうなのか。

② 冬期における通学路の除排雪体制と地域の方からの御協力を得られる方法はないのか。

教育委員長 ① 本年度実施した通学路一斉点検の結果、24カ所の内6カ所が対策の必要な箇所とされ、その内1カ所はすでに対応済となっております。

② 通学路は最優先で除雪いただいており、地域の方々からも歩道の除雪などの御協力を得ております。今後とも、地域のお力添えをいただきながら、子供たちの安全の確保に努めてまいります。



## 平成25年度の情報発信の取り組みについて

後藤 健一郎 議員

大型観光キャンペーンが2014年に山形で開催。情報発信や誘客の絶好の機会の前に、その下地作りを取り組んでみてはどうか。

① 市民全員がセールスマンになれるよう、地産地消及び寒河江市内を対象としたキャンペーンの開催

② 地域おこし協力隊等も視野に入れた情報発信専門員や組織の設置  
③ アクセス等も考慮した、誘客キャンペーン地の選択と集中

市長 ① 本市の特産品であるさくらんぼやつや姫は学校給食に提供しており、より多くの市民の方から食べていただけよう、紅秀峰の家庭での試食品（給食のプチ土産）としての提供や、市HP等での情報発信に努めてまいります。

② 中山間地域における地域おこし協力隊の活用も含めて検討し、情報発信体制を整備してまいりたいと考えております。

③ 北関東や隣県の宮城県等を重点に、さくらんぼの種飛ばし大会、物産市等をセットしたPRキャン

ペーンを実施してまいります。

## 子育て支援について

山形県の共働き率は全国2位、子育て期の女性の労働力率は全国1位。子供や子育て世代が増えるよう、子育てしやすい環境を整えるため、以下検討してはどうか。

① 土曜日の保育時間が午後7時までの市立保育所を増やす。

② 子育てと仕事両立できるよう、病児・病後児保育施設または体調不良児対応型施設を設置する。

市長 ① 土曜日の延長保育の実施施設を拡大することは、子供を安心して生み育てられる環境の充実のために必要なことであると認識しております。今後計画的に拡大すべく検討してまいります。

② 子供が急な病気になっても預けるところがなくて困る場合も考えられます。このため、病児・病後児保育等のできるだけ早期の実現に向けて、体制を整えていく必要があると認識しております。



## 婚活支援について

阿部 清 議員

今年度結婚支援対策事業が始まり、6月に婚活コーディネーターの登録証授与式がありました。現在27名で月1回の情報交換をし、婚活活動を始めました。そこで、

- ①企業を巻き込んだ婚活支援について、独身者交流の機会の創出
- ②本市のイベントでの婚活について、花咲かフェア・さくらんぼ狩り・神輿での婚活
- ③婚活推進体制について若者が住みたくなるまちづくりや総合的な立場での推進課の確立

以上、3点について伺います。

市長 本市の婚活事業については、6月に行った婚活コーディネーター登録証授与式を多くのマスコミから取材していただいたところで、

①地域の中では婚活コーディネーターから思う存分力を発揮していただきますが、企業を巻き込んだ対策としては、企業の人事担当者に働きかけ、「情報交換会」に出席してもらうなどの方策を講じます。

②イベントでの婚活については、活的な要素を盛り込んでもらうよう、まつり実行委員会等で検討していただきたいと思っております。

③また、総合戦略として婚活支援事業を展開することは意義あることだと思いますので、事業の推移をみながら婚活の推進体制についても検討してまいります。

## 水道料金について

水道料金の支払いについて、平成24年10月に水道基本料金と使用料金の見直しが行われ、9・06%の値下げになった。そこで、支払方法を偶数月の年6回の水道料金の支払から毎月の12回支払にならないか伺います。

市長 毎月払いは、料金納入費用が倍増するばかりでなく、人的対応も必要になり、水道料金の押し上げ要因にもなりますが、今後の課題として、他の例や市民の要望なども参考に研究してまいりたいと考えております。



## 防災行政について

新宮 征一 議員

災害が発生した時にはいかに正確な情報を迅速に市民に伝達できるかが最も重要であり、そのことよって被害の程度が大きく左右されるものと思う。

その方法手段として「防災・行政無線」の整備が注目されている。昨年、東日本大震災を受けて、国・県においても有利な制度を設けて整備の推進を図っております。

「緊急防災・減災事業債」を活用すれば自治体負担が総事業費の約23%で済み、「防災対策事業債」を使っても約41%で済むもので、非常に有利な制度です。限られた財源を効率よく使う観点からこの制度の期限内に整備されるよう早急に取り組みたいと思っております。

また、火災発生時のサイレンは、南西部にはなかなか聞こえにくい。市内広範囲に聞こえる場所として長岡山に火災報知用サイレンを設置してはどうでしょうか。見解を伺います。

市長 防災・行政無線は、大規模災害発生時の避難勧告、避難指示などの告知や緊急地震速報、火災発生のお知らせなどの市民への情報伝達方法として、その整備を図ることは大変重要な課題であると認識しております。

防災・行政無線の整備に係る概算事業費は、約2億7千万円と見込んでおり、国の緊急防災・減災事業等を活用し、整備を図りたいと考えております。引き続き、市民の安全・安心を守るため、防災・行政無線整備の前提となる消防ボールの整備を進めるとともに、早期に検討してまいりたいと考えております。

また、サイレンが聞こえにくい場所の解消については、西村山広域消防本部と連携し、整備について検討してまいりたいと考えております。



多目的水面広場の整備について

國井輝明 議員

①多目的水面広場へのアクセス道路の整備と案内標識の数を増やすべきではないか。又、カヌーの乗り降りがしやすいよう棧橋を整備してはどうか。②他の成功事例にもあるようだが、寒河江市でカヌーでの町おこしはできないか。

市長 ①アクセスは、産業通りの皿沼地内から計画しており、交差点部の改良等を本年度着手し、来年度完成を目指します。案内板は水面広場入口には設置済みで、今後アクセス道路入口や長崎橋付近に設置を検討していきます。浮棧橋の整備についても検討してまいります。②水上レクリエーションの普及や交流人口の拡大、西村山地域の他の施設との広域的な連携により、町おこしを図ってまいります。

カヌー競技の普及について

①貸し出し用のカヌーを配備する考えはないのか。②カヌー指導をしてくれる団体や、指導者の確保についてはどのような状況なのか。

③競技力の向上を目指し、ジュニア層の育成を目指すクラブチームを早く創設し軌道に乗せることが重要と考えるがいかがか。④寒河江市からもオリンピック選手を輩出することは夢ではない。オリンピック選手を輩出することで全国に寒河江市を大きくPR出来る。寒河江市としても、カヌー競技においてアスリートを育てられる環境整備をどんどん進めていくべきではないか。

教育委員長 ①市民教室等のためにカヌー艇の配備を検討しております。②市にカヌーの指導員資格を有するスポーツ指導員がおり、今年設立の寒河江市カヌー協会には、実績のある方々が多数参加されており、成しているカヌークラブについて、今後の活動を見守ってまいりたいと思っております。④カヌーの普及と競技力向上に向けた環境整備について、関係団体と協議し、研究・検討してまいりたいと考えております。



住宅建築推進事業費補助金制度の存続について

遠藤智与子 議員

この制度は使い勝手がよく利用しやすいと市内の中小建設事業者から好評を得ています。今年度も5千万円の補助金は8月で使い切っています。制度を創設して3年たち見直しの時期だということですが住宅のリフォームを考えている市民や業者のためにも存続して欲しい。

①これまでの事業実績と課題について  
②経済波及効果と市内事業者の反応について  
③県の取り組みと連動して今後とも市の事業を推進していくことについて

市長 ①平成24年度は市内の87事業者が活用し補助件数は320件、補助申請金額5千万円で、対象工事費は9億6千8百万円であり、特に課題となっている事案はありません。②補助金に対する対象事業費は、補助申請金の22.7倍ということになります。市内事業者の反応ですが、85%

今年度の大雪対策について

が受注に活用できたとされています。③県の事業を活用し、建築を推進する制度は、今後も継続していきたいと考えております。本市独自の幅広い工事対象部分や補助の上乗せにつきましては、経済情勢等を勘案し事業内容を検討してまいります。

昨年度の豪雪を振り返って、今年の冬をできるだけ穏やかに過ごすために以下の対策を。  
①空き家対策を前進させることについて  
②高齢世帯の除排雪支援について

市長 ①市民の理解を得て推進するためには、条例化が必要で、勸告・命令・公表等、対策の法令上の根拠が整備されるべきと考えております。  
②高齢世帯の除排雪支援については、総合的な支援体制の充実が必要であり、さまざまな施策を鋭意検討しているところであります。



市民墓地（園）について

荒木春吉 議員

昨春の東日本大震災は国土と市民に甚大な被害をもたらしました。今も2千700余名の方が行方不明のままです。復旧復興予算の流用等は言語道断の所業であり、一日も早い被災地及び人々の安寧を祈るものです。

現世は諸行無常会者定離盛者必衰生者必滅が理であり、週刊ポスト最新号の「現場の磁力」293回によると、熟年離婚年4万件超、行旅死亡人（死後4日以上の65歳超者）1万5千人、散骨樹木葬等の登場、生活保護者の20万円パツク、年間40万の墓需要でやがてお墓数が全人口を上回るのが現代日本です。日本経済新聞によると、昨年までの5年間で国民一人当たりの所得は35・2万円も下がったそうです。市民からの要請である低廉な墓地の提供、市内の寺・墓地数と市民生活課の相談窓口等について伺う。

市長 墓地の設置、運営等につきましては、墓地・埋設等に関する法律及び墓地経営・管理の指針により、経営主体は、地方公共団体若しくは宗教法人又は公益法人であることとされており、設置に関しては許可が必要となります。

市営の墓地につきましては、県内の幾つかの自治体において設置されております。これまで、いろいろな形で市民の皆様の御要望をお聞きする機会を設けてまいりましたが、市営墓地の設置に関する声は、それほど多くなかったのではないかと認識しております。今後、状況により関係団体の御意見等もお聞きしてまいりたいと考えております。

現在、県の認証を受けている市内の宗教法人数は、112法人でそのうち仏教系が77法人、墓地数は110件となっております。市民の方からの相談につきましては、市民生活課が窓口となり対応してまいります。



市政全般について

川越孝男 議員

①私道整備補助金交付制度の見直しについて。

私的所有の私道と違い、公の土地（法定外公共物）の道路整備には、受益者負担を課すべきでない。

そこで、大江町の「認定外道路整備補助金」制度を参考に、発想を転換して、現行の補助率を50%から80%に見直ししては。

②公共事業整備優先順位審査会の実施状況と事業別に完了時期は、また、24年度当初予算ベースで何年かかるか。

③入札制度の改善について  
入札制度の改善に取り組みされているが、9月議会での指摘を受け、何をどう改善するのか。また、入札執行者と親族者の規制について伺います。

市長 ①私道整備補助金交付制度、特に法定外公共物を整備する場合の住民負担の見直しについては、県内他市の状況や利用者の声などを聞きながらより良い制度となるよう研究を重ねてまいります。

②公共事業整備優先順位審査会はこれまで3回実施しております。今回の審査会での事業別完了時期は、平成24年度当初予算ベースで道路改良6年、舗装新設7年、用悪水路3年、側溝整備6年、安全施設3年となりますが、今後期間短縮する工夫を考えてまいります。

③入札参加者が1名となった場合の入札執行、不落随契約のあり方や入札公告書・入札説明書の統一性や審査会の透明性について、検討しております。入札執行者と親族者の規制については、法的に何ら必要ないと認識しております。





市立病院のアクションプランについて

内藤 明 議員

去る3月、市立病院のアクションプランが策定され、具体的取組の一つとして慢性期医療提供体制の整備を図るため、来年1月から療養病床を導入しようとしています。そのことによって、年間どれくらいの医業収益の増収があるか見込んでいるのか伺います。

また、在宅医療については、入院から在宅へ円滑な移行を進めるうえで、在宅医療支援診療所等が必要と思われますが、在宅医療を行っている民間の診療所等は少なく、市立病院が遠隔診療システムなどのIT化を進め、在宅医療を主体的に行うべきと思いますが、見解を伺います。

さらに、休日夜間の初期救急診療所については、設置を検討するとしていますが、これは市民要望も多くあります。

特に夜間小児科の設置要望は根強く、ぜひ設置すべきと思いますが見解を伺います。

市長 療養病床の1日当りの入院患者数を28人程度、病床稼働率90%で、平均入院単価を1万6千円と見込んでおり、年間では、入院患者数が約1万人となりますので、収入の診療報酬を約1億6千万円と見込んでおります。

在宅医療は、一次診療として在宅医療支援診療所の指定を受けた診療所の先生方が当り、市立病院は、二次診療として、在宅患者の急変時の入院診療に対応しております。遠隔診療システム等の導入については、今後の課題と考えております。

休日夜間の救急診療所の設置は、市民のニーズが高いことから、診療所の先生方のご協力をいただきながら、市在宅医療推進協議会を設置した中で具体的に検討してまいります。小児科の設置については、医師数が少ないという難しい要素があり、その可能性について協議会の中で検討していただきたく考えております。

議会報告会を開催

議会初の試み11/9～15 9会場で138名参加

議会基本条例で定めた、議会報告会が初めて開催されました。議会報告会は、全議員が3班編成で、市内全ての公民館分館を会場に4年間で一巡する計画です。今回は、柴橋多目的研修施設、三泉下河原高齢者若者センター、白岩中町公民館、西根南部公民館、六供町公民館、米沢公民館、白岩新町公民館、末広町公民館、高屋公民館の9カ所で開催しました。

報告会の内容は、9月定例議会で審議された平成23年度各会計決算や財政の健全化判断比率などについて、議会での主な質疑と結果について報告しました。その後、参加された市民のみなさんより、質問やご意見をいただきました。各会場の参加者数は1名から27名と差があったものの、延べ138名となりました。参加された市民の関心は高く、活発な議会報告会となりました。

議会のインターネット中継のごあんない

議会ホームページでは、インターネットによる本会議及び予算・決算特別委員会のライブ中継、録画中継の配信を行っております。是非ご利用ください。

接続方法

インターネットの寒河江市ホームページ (<http://www.city.sagae.yamagata.jp/>) ⇒寒河江市議会⇒議会中継 (<http://www.kensakusystem.jp/sagae-vod/>) で下の画面につながります。





報告会で出されたご意見、ご要望については、議会全体で整理し、行政当局に伝えるべきものは伝え、今後の議会での議案審査や政策づくりに活用させていただきます。

また、次回の議会報告は、4月に予定しておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



議会報告会

**市民からの要望・意見  
議会への主な要望・意見**

- ・休日議会の開催
- ・市民にも解るように説明資料の準備を含めしてほしい
- ・議会報告会の案内を工夫すべき
- ・こつした報告会は会派で

すべき。当局が答えるのと一緒ではおかしい

・市民の意見を聞くことを重視すべき。議員と市民が意見交換する会に

・今日の説明では、議会だけで既に知っていた。市民の意見を聞く場にすべき

・市民の声を実現するために議員も智慧を絞ってほしい

**行政への主な要望・意見**

・防火貯水槽が5〜10年できるころと、すぐできるころもある。きちんとした説明がほしい

・さくらんぼの日に、さくらんぼの旗を掲げては

・独居老人対策として、その存在を把握できるように、町会長さんや隣の人などが

個人情報を守っていることが命を守るために必要な

のではないかと

・募金など町会費から出しているところにも個人宛の領収書と納入通知書が送られてくるが無駄だと思うが改善できないか

・市から町会長に郵送され

てくるパーパーや封筒が多すぎる。工夫して少なくしてはどうか

・固定資産税物件調査(家屋評価)は周知を徹底してから調査に入してほしい

・高速道路の側道に高速道路会社より街灯を付けてほしい

・北部地域への雪捨て場の新設

・街路樹の根元の盛り上がりによる舗装欠陥箇所の早期改修

・市道山西米沢線整備を早期に実現してほしい

・工業団地からの直接のアクセスとして287号線から高速道路のICをつくる

とか考えていないか

・山形銀行寒河江支店のところの交差点に右折の信号機設置を望む

・若神子島線西根小学校の通りから陵東中学校までの

区間を早く整備してほしい

・長生園から柴橋を通過して工業団地に通じる道路の幅が必要と思うが、整備計

画はないのか

画はないのか

・音楽祭で8月に最上川ふるさと総合公園に行ったとき5月に子供達が植栽した花が枯れていた。管理をきちんとしてほしい

・毎年花咲かフェアが行われているが、はつきりとしたテーマや狙いがあるとよい

・谷沢バイパスの信号機設置を市長を通して警察にも伝えて実現してほしい

・教育委員会と建設管理課の連携で、通学時間に間に合う歩道の除雪と通学路の確保

・地区要望の優先順位の審査会を年1回から3回に増やしてほしい

・下水道の水洗化率を高めるための対応が必要なのは

・田代、幸生などへの移動販売車を検討しては

・市の開発について、大型商業施設の誘致や中心地域の活性化が必要と思う

・種まき桜の駐車場及び看板の整備とライトアップの実施

・寝たきりにしない、介護状

態にしない、健康寿命を長くするような対策に予算を使ってほしい。紅葉狩りのような企画は大変良かった

・地元の公民館でもできる健康教室を開催してほしい

・教室の暑さ対策について、エアコンを取り付けていただけるように要望して頂きたい



市長へ要望、意見を報告

今回の取り組み状況と皆さんからいただいた貴重なご意見を全議員で検証し、次回の報告会と日常的な議会活動に生かしてまいりたいと思います。

また、議会報告会会場でもいただいた要望、意見への回答については、議会のホームページに掲載することとしています。

# 常任委員会 議会運営委員会の行政視察報告

議会では、各常任委員会、議会運営委員会でテーマを定め、先進地の行政視察を行いました。その概要について報告します。

## 総務文教常任委員会

### 兵庫県小野市 小野市の行政経営について

小野市は、「現状打破」「新たな創造」で市民が住んでよかったを実現するため、平成10年から行政経営を実施している。特色は「行政も経営」、基本理念は顧客満足度志向、成果主義、オンリーワン、先手管理の4つの柱とする行政経営戦略である。政策評価を重視した方針管理制度や職員の意識改革をするための能力成果主義を実践している。PR用のチラシはまさに企業大売出し用のものであった。特に人口増加推進に向けた取組みに対する熱意が感じられた。

### 大阪府豊中市 千里文化センター「コラボ」運営事業について

豊中市千里文化センター「コラボ」では、地域との連携により、地域づくりの拠

点としての機能強化を図るため、市民実行委員会によるコラボ運営事業が実施されている。

人と人との情報交流拠点「コラボカフェ」や市民の憩いの場として整備されている屋上庭園、各種イベントが開催されている。人と人との交流が深まり、生きがい等を見つけられ、効果が上がっている。

### 大阪府池田市 地域分権制度について

地域分権制度の目的は「自分たちのまちは自分たちでつくる」を掲げ、地域内の共通課題の解決を図り、市と協働でまちづくりを進めることである。

個人住民税の1%程度の9百万円を限度として事業の提案をしていただき、地域のために活用している。市民からの意見では、行政に参加していることへの意識が強まったとのことである。

### 大阪府高槻市 まちごと子供図書館構想について

子どもの読書活動を推進するために、図書館という建物ではなく、図書配送のシステムとして考えることに特色がある。

市内の全小中学校に子ども図書館としての機能を持たせ、読書支援センターを設置し、子どもの読書環境の整備、事業の実施、課題の検討を行い、書庫機能の役割をすることである。本市における読書の盛んなまちづくりを強化しなければならぬと感じた。



## 厚生常任委員会

### 兵庫県芦屋市 権利擁護センターについて

権利侵害への対応や権利行使に社会的な支援が必要な高齢者及び障がい者に対し、権利擁護に係る相談から支援まで総合的に行うことにより、高齢者及び障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目的としている。

平成23年度の専門相談員の電話や来所による相談件数は3千件あり、その内容は虐待、DV等の権利侵害が42%、成年後見制度については23%となっており、この2つで相談内容の3分の2を占めている。

今後の課題としては、地域住民への普及及び啓発と権利擁護支援システムの構築を挙げている。

兵庫県高砂市  
高砂市民病院の運営に  
ついで

脳卒中及び心筋梗塞に対して、公立病院として患者を受け入れ処置等の人命を繋ぎ止める緊急対応ができるように検査機器、手術機器を充実させるとともに、時間外の救急搬送に対する連絡体制を整備している。癌に対しては高度医療機器R I装置やマンモグラフィーを使用し、早期発見・早期治療に貢献している。内視鏡検査・処置、糖尿病は、最も得意とする分野であり、医師派遣拠点病院として地域医療に貢献している。人工透析については、県内でも有数の技術を誇っており、透析施設の一層の充実とともに、状態の急変した透析患者の受け入れ先としていた。

兵庫県相生市  
あいおいが暮らしやすい  
11の鍵(KEY)にしよう

子育て支援により定住人口の減少に歯止めをかけよう



うと事業を展開。相生市として特徴的なのは、新婚世帯への月1万円補助制度や保育料の無料化、また、幼小・中学校給食の完全無料化。新婚世帯への補助制度は、新婚世帯家賃補助金を交付し、市内の民間賃貸住宅に入居する新婚世帯に3年を限度に毎月1万円の家賃を補助している。保育料については、市立幼稚園は無料であり、私立の幼稚園や保育所は、月額8千円の支援をしている。こうした取り組みの効果として平成23年度の住宅取得等支援で新婚家賃補助の累計が57件

あり、その内31件が市外からの転入とのことである。

東京都多摩市  
議政運営委員会

所信表明会の実施及び  
議会運営について

多摩市議会では、東京初の議長選挙前の所信表明会を行っている。所信表明会では、市民傍聴のもと、議長・副議長候補者が一人10分以内で所信表明を行い、2分以内の質疑も行われている。

出前委員会(議会報告会)は、地区公民館を会場として開催していたが、より市民との意見交換を求めることから、今後地域のコミュニティに落としとして実施することとしている。

事業評価については、各担当課が所轄事業を評価し、その評価を基に議会が委員会ごとに市民に理解しやすいようリーダーチャート化して再評価を行っている。

埼玉県所沢市

議会改革評価報告書、議会事業評価及び議会運営について

所沢市では、議会改革の取り組みや成果について、その達成度の自己評価(議会事業評価)を行い、その評価をまとめたものが議会改革評価報告書となっている。

また所沢市では、議員の定数と報酬について、学識経験者、団体代表、自薦市民からなる「定数のあり方に関する審議会」を設置し、「定数の根拠はどうあるべきか」ということで諮問し、議員の定数と報酬について検討を進めている。



議会  
日誌

(10月21日～1月20日)

10月	22日	定例議員懇談会、議会改革検討委員会
23日	～25日	新清・公明クラブ行政視察
30日	～31日	議会運営委員会行政視察
11月	8日	山形県市議会議長会議会報研修会
9日		議会報告会
10日		議会報告会
12日		議会報告会
13日		議会運営委員会、常任委員長会議、議会改革検討委員会、議会報告会
14日		議会報告会
14日	～15日	山形県市議会議長会定期総会
15日		議会報告会
16日		会派代表者会議
16日	～30日	12月定例会
19日		議会運営委員会
20日		議員懇談会
29日		議会運営委員会
30日		議会だより編集委員会、スポーツ議員連盟役員会
12月	5日	会派代表者会議
11日		議会改革検討委員会
20日		議会運営委員会、定例議員懇談会
26日		第2回臨時会
1月	9日	議会だより編集委員会、会派代表者会議
11日		議会改革検討委員会
17日		新政クラブ行政視察
18日		議員懇談会

## 市民の声



白岩 田中 英司さん

寒河江市でこんな条例を制定できないでしょうか。

・平らな土地を農業以外のために使つてはいけない。……日本の食糧自給率を高めよう。農業をやりたくなるような施設も必要。工場、商店、住宅、公共施設などは原則、丘陵地帯に作ろう。すでにこうしている国がある。

・保育料も給食費も無料。小中学校の給食費も諸経費も無料とする。……貧しくても、子どもを産んで育てることができ寒河江市にしよう。すでにこうしている国では出生率が上がった。

・市議会議員、市役所や小中学校の管理職の割合を、10年後までに5割まで高める。……女性の意見や感性が活かされる社会にしよう。出産、育児を皆さんでも働き続けられる社会にしよう。すでにこうしている国がある。

以上、本当は国政レベルの問題です。決めればできます。

## 3月定例会の日程(予定)

- 2月28日 本会議(議案上程、説明)
- 3月5日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(質疑)、予算特別委員会、委員会・分科会(建設経済)
- 11日 各委員会・分科会(厚生、建設経済)
- 12日 各委員会・分科会(総務文教、厚生、建設経済)
- 13日 各委員会・分科会(総務文教、厚生)
- 14日 委員会・分科会(総務文教)
- 21日 予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。  
※日程は変更になる場合があります。事務局(86-2111)にお問合せください。

## 議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。

議会の会議はすべて原則公開です。

■3月定例会の請願・陳情の締め切りは2月22日正午までの予定です。

## おらがまち 紹介

末広二町会

結城 昭雄さん

我が町、末広二町会は末広地区4町会の一つで、島崎と呼ばれた古くからの町と昭和40年代後半頃から新しく建ち始めた住宅の町で、まさに町名どおり末広がりの町に発展しました。

以前は通称「鯉屋道路」の東側は見渡す限りの田んぼで、山形馬見ヶ崎川の花火が見えた程、自然がいっぱいの所でした。

高速道路や寒河江バイパス、横道から天童街道をつなぐ道路が開通すると商店や医院、大型スーパー、小沼団地、高田団地等ができて周囲の景観も大きく変貌しました。

町内会行事としては、5月から10月の間、毎月1回沼川の清掃作業を行っています。

4町会合同の公民館活動も活発で、ビアガーデン、子供みこし、運動会、敬老会、町民祭、新年会、サークル活動等の多彩な行事で町民の親睦融和を図っています。



4町会合同の町民祭

明けましておめでとうございませう。

昨年は大雪、猛暑と大変な年でありました。

また、暮には衆議院議員選挙、寒河江市長選が行われ、佐藤洋樹市長が再選されました。新たな気持ちで市政発展に取り組んで頂きたいと思ひます。

衆議院選は自民が大勝しました。東日本大震災の復興と景気回復に党派を超えて取り組んで頂きたいものです。

私達は皆様に最も身近な議会として、より開かれた議会活動に専念してまいります。

本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申しあげます。

また、今後も読みやすい誌面づくりに努力いたしますので、ご意見がありましたら是非お寄せください。

(沖津 記)

## 編集後記